

工夫のしがいがある

よりよい日を送るには

少し

工夫を

ゆればと思いい 着る物を考えることと比して

少し手を加える

それゆえの私には無理

強きあせをちぎ

それなら何とあがりそう と思ひ

わーあ、 じじいおやぶぬてりる 干ヤトルの

ヤウとかい茶色のせいで一を考慮した

ヤウもぬていりるのは七世と千ぐらい

全地がうすいのうで上と赤い つかつかある

羊ひらりの物を着る

地は茶色で赤い つかつかでおあわれ

すかすかいいいと思ふ

白のしーす 梅のアルバカのカーチンが

羊をとゆふ せいで一は

白くアしんか さいさいで買ったのは

今年も茶色

つうしてあくとこのむらとけ 知らなかつた

そのせいで一はさいはひで下すてある

一度も着ることもなく

夕之風のふくは

まかれていた

遺物といつしよに 持つて ころの時は

あちこち ひつ か木り いろん 色に 不けん

ていん

それいかに ちん 今おけ ちん と 三れ

一枚で べん かの あん ちん かの あん

その 不 着る こと お 出 来る

今ひとつ 毛糸の 太さの 白い 総がりの

上靴 普段着る こと は 出来る うちに

下と 上 万本の 色物 を 着たり すれば 何と 不けん

かもし れる すが

私には 無知だ 五十年 ぐうい の人 ぶる だ

ひと つ く 居る といくと 両利 甲 出来る

これだけ 履える すが なく 履える うちに したい

昔天し ても 着る の は 大変 解や 手丸

思 う うちに いか せん

その うちに 有り せん だ して する

年 け たり にく せん

2021
10/21